

愛媛若葉ひろみ句会

葛の根に足をとられて独言

大川 眺春

鉄塔を掠めて高さ帰燕かな

毛利 敦

群れ咲きし石路に陽だまり生れにけり

小西 あや

敗荷のどこかが揺れて水光かる

梶原 一美

秋天の青さへ伸びる夫婦杉

松岡 寛孝

腰かけてみたき雲あり秋うらら

伊藤 京

栗剥くや遠き日のこと明日のこと

井谷 けい

身にしむや一人くらしの家増えて

福本 恵子

秋惜しむ樹令を知らぬ樹に凭たれ

浜田 千鶴

コスモスや病得て知る家族愛

長田 徳子

青空が子等を励ます運動会

高田 弘子

秋祭り里にくりだす神と人

藤田 光子

路面ぬれ朝の空気のしつとりと今日の暮しを一步踏み出す

佐々木登美子

二十九人逝きてさびしい同級会喜寿の集いで想い出語る

伊手リツエ

にんげんはなぜ争うのか羊雲互いにゆずり移りゆく空

武田 幸子

一夜明け思い届かぬ都構想市長さんには疲れは見えず

西添 春子

湯がたぎる筍おこわ暖かし優しき友より今年も届く

山本まつゑ

にわか雨南蛮煙管茅の元ぬれるの忘れ手折りて帰る

芝 幸子

秋場所でチャンス掴めよ稀勢の里肩こり忘れ応援の日々

二宮 安恵

久に会ふ人等ありし敬老会元気で居ようと別れを惜しむ

兵田トミ子

車椅子押して見舞の姪夫婦帰る姿に胸いたくなり

蛭谷 寿子

祝米寿の記念品もらいしみじみとよくも生きしや来し方想ふ

高田 治子

広見短歌会

Andrew's Story 【No.16】 「Music classes」

もうそろそろ冬が始まりますね。11月には、鬼北町のいろいろな行事がありました。その中で私は、11月6日に開催された「きほくふれあい音楽会」を見に行きました。町内小中学校の児童生徒たちが、これまで一生懸命練習してきた歌や演奏を、精一杯披露していました。とても素晴らしかったです。

そこで、今回は学校の音楽の授業について考えてみました。日本では、ほとんどの小学校で「音楽」を勉強します。この音楽の授業では、歌を歌ったり、リコーダーなどの楽器を演奏したりします。そして、「音楽」の授業は、高校に入っても選択することで続けていくことができます。しかし、高校での音楽の授業も、内容はこれま

でとほとんど変わりません。

一方、アメリカでの「音楽」の授業は少し違っていています。小学校では、4年生までは日本と同じようにリコーダーなどの勉強をしますが、5年生になるときに「音楽」の勉強を続けるのか、そして続けるのであれば、さらに「吹奏楽」にするか「管弦楽」にするかの選択をしなければなりません。

以前、アメリカの学校のことについて書いたときにも触れましたが、この選択後も「部活」ではなく、あくまで「授業」として音楽を勉強していきます。そういった意味では、この選択をすることで、小学校5年生から新しい世界に入ることができるのです。すごいと思いませんか。



鬼北町外国語指導助手
通称：アンディ
アメリカ合衆国アリゾナ州出身
※毎週水曜日、英会話教室を開講しています。